



iittala

イッタラ展

秋田市立千秋美術館リニューアルオープン記念

Stars of Finnish Glass

フィンランドガラスのきらめき

2024.6.29|土| - 8.25|日| 会期中無休 秋田市立千秋美術館

開館時間 午前10時 - 午後6時 (入館は午後5時30分まで)

主催: 秋田市立千秋美術館、フィンランド・デザイン・ミュージアム、朝日新聞社、AAB秋田朝日放送

特別協力: iittala 後援: フィンランド大使館、秋田魁新報社、ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、エフエム秋田、CNA秋田ケーブルテレビ

Photo: Anton Sucksdorf

iittala



オイバ・トイッカ
《バード・パイトイッカ》
シリーズ ©Fiskars Group

フィンランドを代表するライフスタイルブランド、イッタラ。ヘルシンキの北約120kmにあるガラス工場から出発した同ブランドは、アルヴァ・アアルトやカイ・フランクラ、デザイン史をけん引した建築家やデザイナーとともに歩んできました。美しさと機能性をすべての人へ提供するという思想のもと送り出されたプロダクトは、今なお世界中で愛され続けています。本展は、イッタラ創立140年を記念しフィンランド・デザイン・ミュージアムが開催した展覧会を再構成し、日本との関係に焦点を当てた章を加えたものです。ガラスを中心に、陶磁器、映像等をあわせた約450点を通して、イッタラの技術と哲学、デザインの美学に迫ります。

見どころ

- ① イッタラの140年におよぶ軌跡を**450点以上**の作品を通して紹介
- ② **日本初**、イッタラの大規模巡回展!
- ③ **デザイナー**を通して見るイッタラと日本のつながり



ティモ・サルパネヴァ《マルセル》、1993年
©Design Museum Finland, Photo: Johnny Korkman



ティモ・サルパネヴァ《i-ライン》シリーズ、1956年
©Design Museum Finland, Photo: Rauno Traskelin



タビオ・ヴィルカラ《カンタレリ(アンズタケ)》、1947年
©Design Museum Finland, Photo: Ounamo

関連事業

ワークショップ 「吹きガラス制作体験」

日時 ①6月30日(日) ②7月28日(日)

各日とも午後1時より受付、
午後1時30分開始

体験時間 約1時間30分

会場 秋田市新屋ガラス工房(秋田市新屋表町5-2)

対象 中学生以上(中学生は保護者同伴)

人数 各回4人

体験料 3,300円(税込み、現金のみ)

申込 6月10日(月)午前9時30分より
千秋美術館にて電話で受付

ワークショップ 「風鈴絵付け体験」

日時 8月3日(土)

[午前の部]午前9時より受付、午前9時30分開始
[午後の部]午後1時より受付、午後1時30分開始

体験時間 約1時間30分

会場 秋田市新屋ガラス工房(秋田市新屋表町5-2)

対象 小学生(保護者同伴)

人数 各回12人

体験料 3,850円(税込み、現金のみ)

申込 6月24日(月)午前9時30分より
千秋美術館にて電話で受付

見どころ スライドレクチャー

日時 7月6日(土)

27日(土)

各日とも午後2時より
30分程度

担当 千秋美術館学芸員

会場 千秋美術館3階講堂
(申込不要、
要観覧券チケット)

秋田市新屋ガラス工房 作品展

「秋田市新屋ガラス工房」
との連携により、秋田で
制作されたガラスの魅力
を紹介します。

期間 6月18日(火)～
8月25日(日)

場所 アトリオン1階
ロビー内
ショーウィンドウ

観覧料(税込)

一般	大学生
1,200(1,000)円	800(640)円

※高校生以下は無料 ※()内は
20名以上の団体、前売、障がい者
割引および秋田県立美術館との
相互割引料金 ※前売券販売所:
さきかけニュースカフェ、ローソン
チケット(Lコード:21805)

[アクセス]

- 電車 JR秋田駅下車
西口徒歩5分
 - 飛行機 秋田空港より
リムジンバスで約40分、
タクシーで約30分
 - 車 秋田自動車道 秋田
中央J.Cから車で約15分
- ※専用駐車場はありません。
最寄りの有料駐車場をご利用
ください。車いすでご来館
の方はご相談ください。

秋田市立千秋美術館

AKITA SENSU MUSEUM OF ART

〒010-0001
秋田県秋田市中通2-3-8(アトリオン)
Tel: 018-836-7860 Fax: 018-836-7862

イッタラ展 公式HP

